

はじめてのくずし字講座 (漢字編)

令和6年7月13日
諏訪市博物館

ひらがな編 (7/6開催) より

【くずし字を読めるようになるコツ】

①変体仮名を覚える

②独特のくずしをする字を形で覚える

③頻出する文字・言い回しを覚える

▶ 偏やつくりなどから文字を組み立てていく

▶ 前後の文脈から可能性のある文字を推測する

(人名、地名、数字、助詞、動詞、送り仮名...)

▶ 筆者の多少の字癖やパターンはいくつかあるものの、それぞれの文字のくずし方には一定の決まりがある。

=くずし字辞典でその文字を引くと、類例の中に同じくずし方をしているものがたいていある。

くずし字を読む上で知っておきたいこと①

- ▶ 変体仮名（前回のひらがな編）
- ▶ 合字 め...「しめ」 ㇿ...「より」 𠂔...「とも」 𠂔...「こと」
- ▶ 旧字体（昭和24年に当用漢字が定められる以前に使っていた字体）
（例）實→実 賈→売 佛→仏 躰→体 傳→伝 拂→払 與→与
禮→礼 𡗗→喜 兩→両 豫→予 晝→昼 畫→画 廣→広 處→処
會→会 曾→曾 變→変 etc.
- ▶ 異体字（同一文字の異なる表記形式）
（例）杫=杉 𣎵=松 烟=煙 燈=灯 笔=筆 叀=事 哥=歌 etc.



くずし字を読む上で知っておきたいこと②

▶ 和漢混交文（わかんこんこうぶん）

和文体と漢文訓読体が融合した文体のこと。文章中に漢文訓読の際の語法（返り点の読み方）が混じって使われていたりする。

（例）可被為在候→あらせらるべくそうろう

可令申候→もうせしむべくそうろう

被為蒙仰→おおせこうむらせられ

不罷成→まかりならず

▶ 候文（そうろうぶん）

文章に「候」という丁寧語を用いる文語体の文章。鎌倉時代から使われていたとされる。

古文書によく見られる漢字・熟語・言い回し（形で覚える）①

- ▶ 御、様（【名前】様、候様）、殿
- ▶ 可（可【動詞】）、不（不【動詞】）
- ▶ 被（被令、被為、被仰、被遊、被遣、被下）
- ▶ 相（相【動詞】）、節（之節・候節）、座（御座候様）、申、出、共
- ▶ 之（【名詞】之【名詞】）、等（【名詞】等）
- ▶ 并、*ㇿ*、者（候者）
- ▶ 候（候八、・候得共）
- ▶ 也












古文書によく見られる漢字・熟語・言い回し（形で覚える）②

- 召連（めしつれ）、罷（罷出）
- 無之、有之、有難（ありがたく）
- 二付（候二付）、二而、江茂
- 間敷（まじく）、宜敷（よろしく）
- 然（しかる）、以（もって）
- 乍恐（おそれながら）
- 如件（くだんのごとく）
- 急度（きつと）



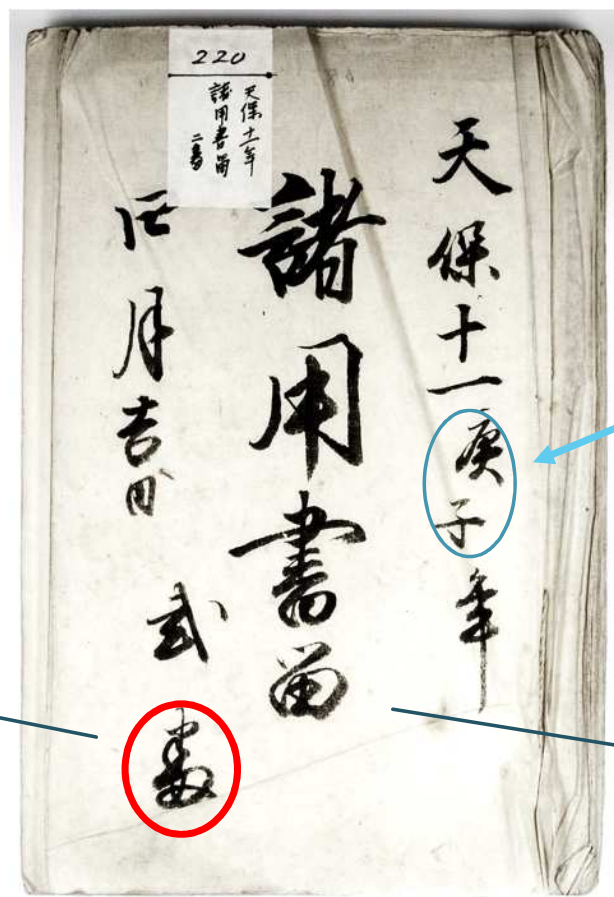
※闕字... 高貴の人物が文中に現れた際に、敬意を表して「□上様」「被□□仰」
などその名詞や動詞の上に1字または2字分の空白を空けるという約束事。

くずし字辞典の使い方

- ① もしかしたらという字がある  音訓索引  用例の中から同じようなくずし方をする字を探す
- ② 部首だけわかる（木偏、糸偏、草冠、竹冠...）
 部首索引  同じ部首の中からそれらしい字を探す
- ③ 旁がわかる（青、責、同...）
 「扁旁冠脚のくずし方」（『くずし字用例辞典』） どの偏が候補として挙がるかを見る
 ①へ
- ④ 全くわからない
 筆の入り方を見る（縦点、横点、斜め棒、縦棒、横棒）（『くずし字解読辞典』）
 ①へ
 その字を含む熟語の内の一文字が読めれば、その字を音訓索引で調べて用例の中に可能性のある字はないか探す  ①へ

本日のテキスト

大祝日記（諏訪上社大祝諏方家文書）



番

かんし
干支

留

陰陽五行説という古代中国の考え方で、年・月・日・時間・方位を表す方法。十干と十二支を組み合わせる（全60種・六十干支）

大祝（おおほつり）、大祝日記とは？

▶ 大祝

- 江戸時代まで諏訪社（現在の諏訪大社）にあった官職で、最も高い位。明治維新に廃止。
- 大祝の下に、五官祝（上社：神長官 下社：武居祝、祢宜太夫、権祝、擬祝、副祝）がいた。
- 大祝は諏訪明神が人の形で現れた姿（生き神様・現人神）と信じられていた。
- 大祝は8歳の童男がなり、神が宿るとされた御衣を着せられることで神の力が与えられるとされた。大祝の職にある間は郡外不出の掟があった。（『諏訪大明神画詞』）
- 大祝は代々諏方家が務めた。高島藩主を務めた諏訪家も元は同じ家。

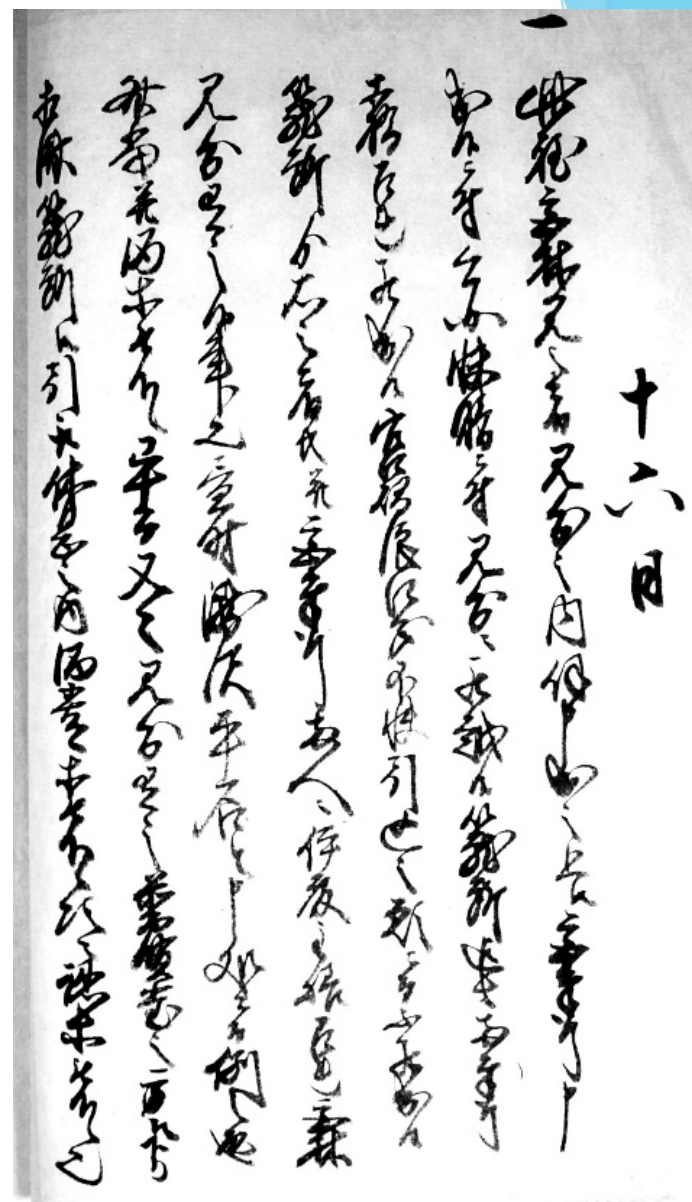
▶ 大祝日記

大祝諏方家に残っていた日記で、江戸初期のものからある。家臣または大祝自身が書いた日記で、職務や日々の出来事などが細かく記されている。

現在博物館友の会古文書学習会員によって解読作業が進められている。

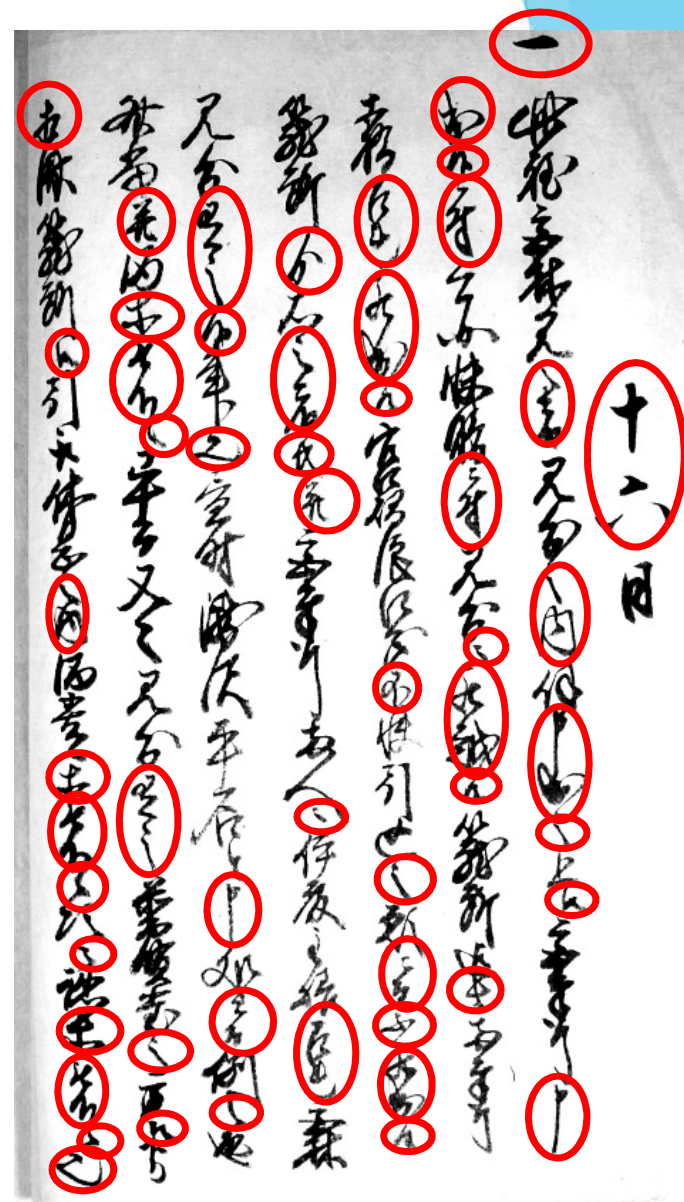
次の文字を探してみよう

- | | |
|--------------|----------|
| ① 漢数字 | ⑩ 召連 |
| ② 之・之内・之者・之節 | ⑪ より (方) |
| ③ 二・二付・二而 | ⑫ 并 |
| ④ 申・申出 | ⑬ 共 |
| ⑤ 江 | ⑭ 有之 |
| ⑥ 候 | ⑮ 也 |
| ⑦ 罷出・罷越 | ⑯ 等 |
| ⑧ 者 (は) | ⑰ 被・被下 |
| ⑨ 不 | ⑱ 相 |



次の文字を探してみよう

- | | |
|--------------|----------|
| ① 漢数字 | ⑩ 召連 |
| ② 之・之内・之者・之節 | ⑪ より (方) |
| ③ 二・二付・二而 | ⑫ 并 |
| ④ 申・申出 | ⑬ 共 |
| ⑤ 江 | ⑭ 有之 |
| ⑥ 候 | ⑮ 也 |
| ⑦ 罷出・罷越 | ⑯ 等 |
| ⑧ 者 (は) | ⑰ 被・被下 |
| ⑨ 不 | ⑱ 相 |

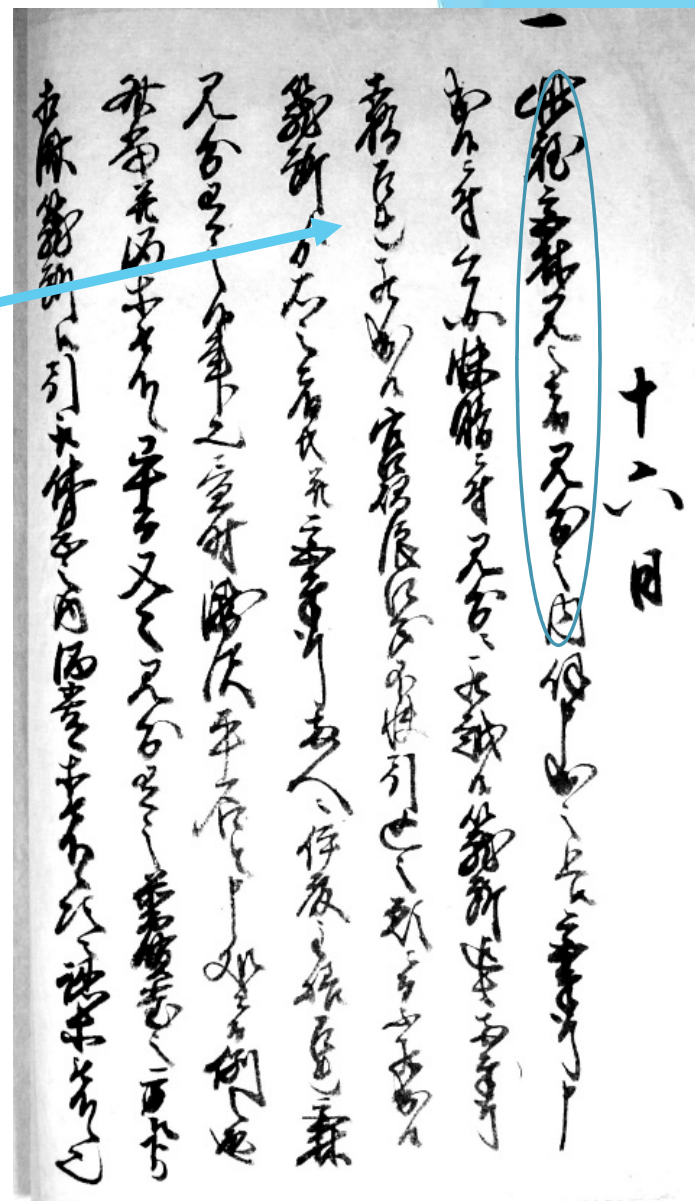
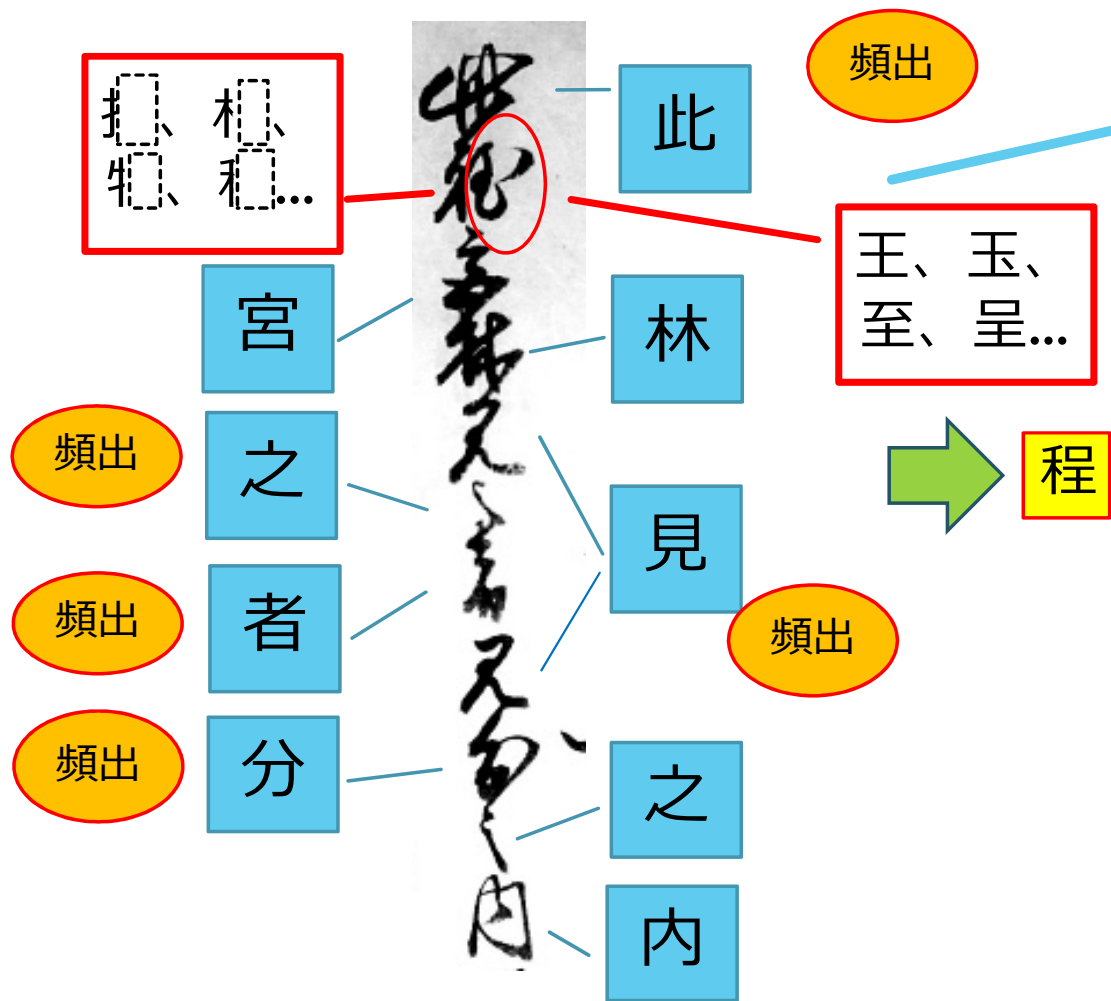


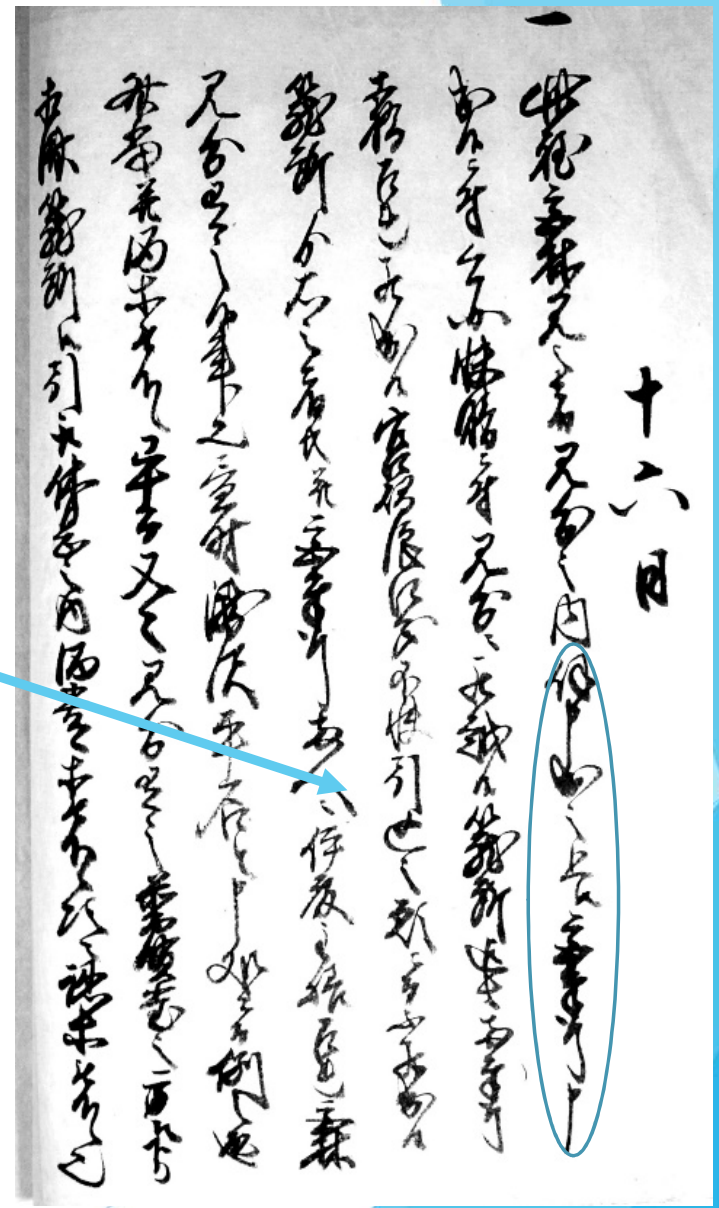
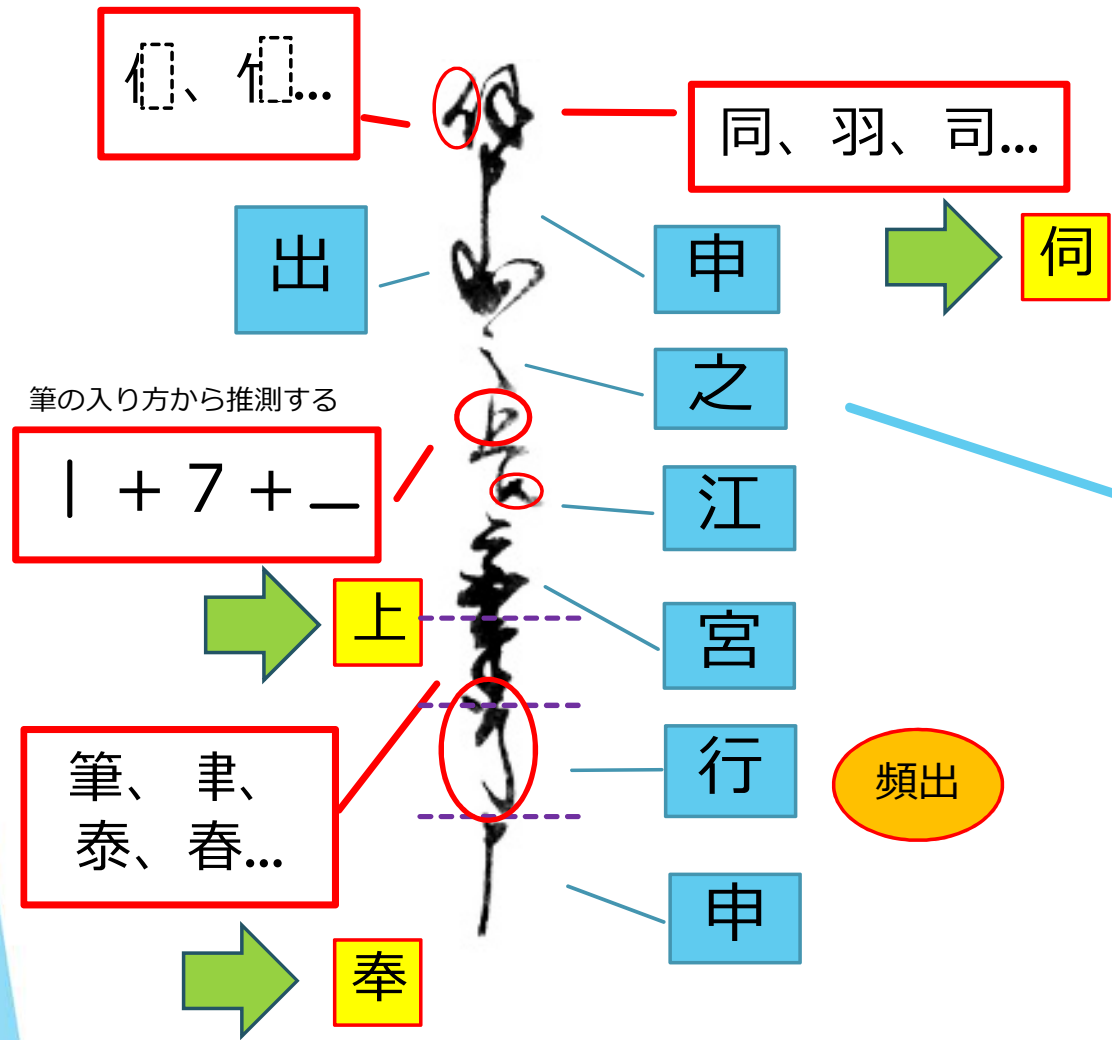
次の文字を探してみよう

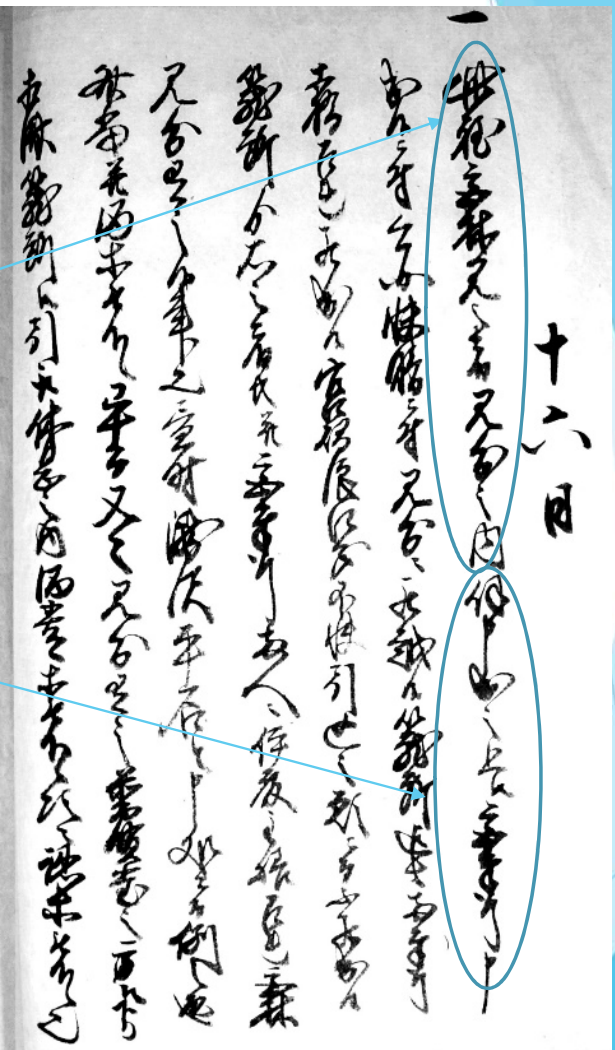
- | | |
|--------------|----------|
| ① 漢数字 | ⑩ 召連 |
| ② 之・之内・之者・之節 | ⑪ より (は) |
| ③ 二・二付・二而 | ⑫ 并 |
| ④ 申・申出 | ⑬ 共 |
| ⑤ 江 | ⑭ 有之 |
| ⑥ 候 | ⑮ 也 |
| ⑦ 罷出・罷越 | ⑯ 等 |
| ⑧ 者 (は) | ⑰ 被・被下 |
| ⑨ 不 | ⑱ 相 |



読んでみましょう







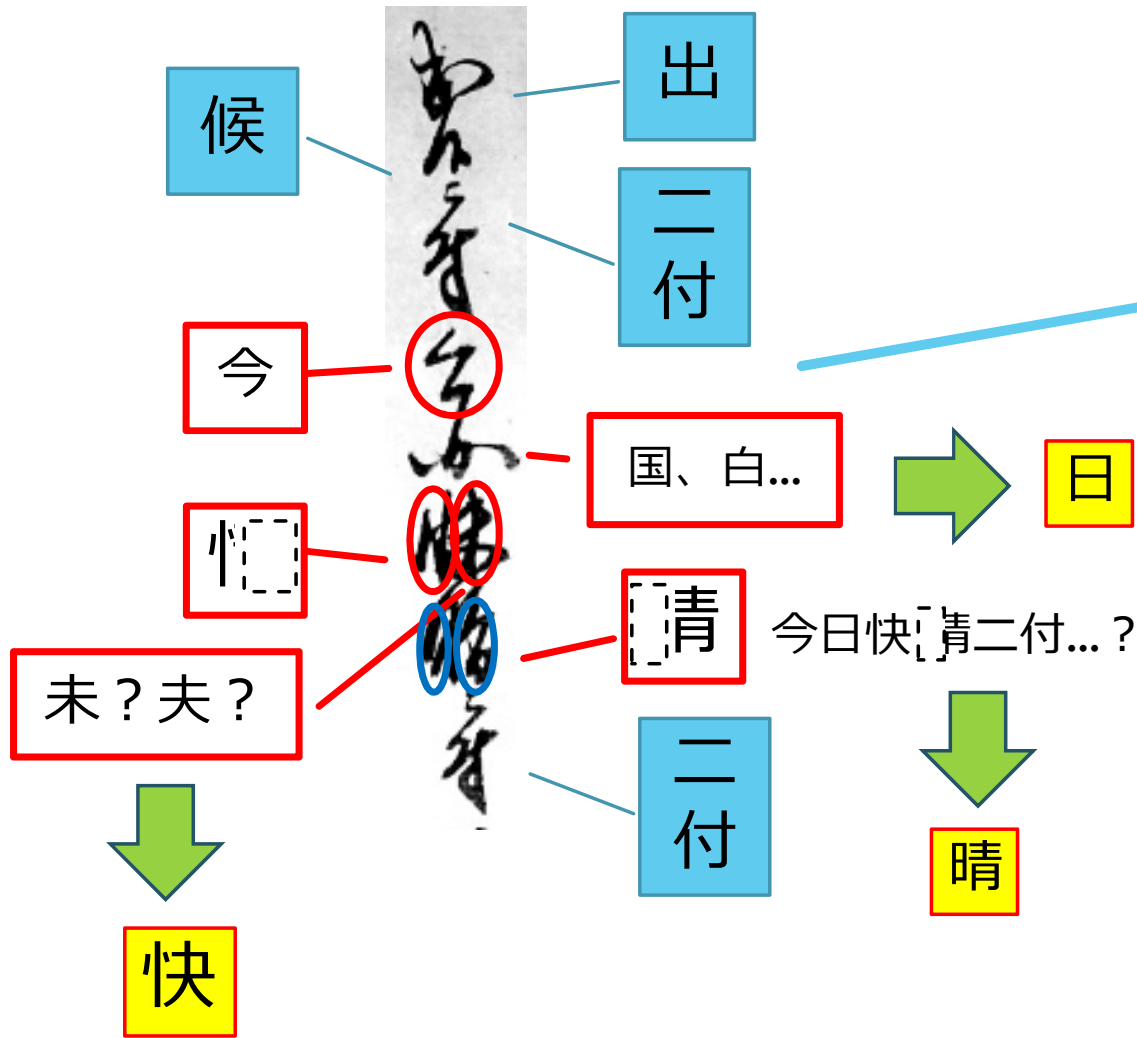
此程 宮林 見之者 見分之内

世冠主君元々着又白之内

伺申出之上江宮奉行申

世冠主君元々着又白之内

此程宮林見之者見分之内、伺申出之上江、宮奉行申…



十六日

一 世冠... 兄... 又... 内... 心... 長... 幸... 一
 中... 牙... 今... 快... 晴... 兄... 今... 日... 快... 晴... 二... 付...
 新... 心... 石... 長... 長... 幸... 一... 友... 友... 森...
 兄... 今... 日... 幸... 之... 幸... 財... 財... 財... 財... 財... 財...
 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財...
 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財...
 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財...
 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財... 財...

十六日

世冠嘉嘉兄... 出候二付今日快晴二付... 見分二罷越候籠所迄者宮奉行

出候二付今日快晴二付

見分二罷越候籠所迄者宮奉行

見分二罷越候籠所迄者宮奉行

見分二罷越候籠所迄者宮奉行

(申) 出候二付、今日快晴二付、見分二罷越候。籠所迄者、兩奉行...

博物館友の会「古文書学習会」にぜひご参加ください！

- ▶ 毎月第3土曜日 午前9時30分～11時30分
(令和6年9月は都合により14日)
- ▶ 現在の会員 11名 (内3名は新規会員)
- ▶ 会場 博物館 学習室
- ▶ 参加費 年1000円 (友の会年会費として)

- ▶ 使用テキスト 大祝日記 (博物館所蔵)

参考：博物館資料整理 (現在は**大祝諏方家資料**)

- ▶ 毎月第3土曜日 午後12時30分～14時30分
- ▶ 会場 博物館 学習室

諏訪市博物館 友の会 「古文書学習会」の**新規会員**を募集中です

諏訪市博物館友の会「古文書学習会」では、博物館所蔵の古文書資料を読みながら、その楽しさを会員同士で共有しています。

あなたも古文書の解説を通じて、諏訪の歴史を紐解いてみませんか？
初心者の方にもわかりやすく説明します。ぜひ一緒に学びましょう！

- 開催日時 毎月第3土曜日 午前9時30分～11時30分
- 会場 諏訪市博物館 学習室
- 対象 どなたでも (古文書初心者の方もご参加いただけます)
- 参加費 年1,000円 (博物館友の会年会費として。資料代含む)
※初回は見学として無料 (2回目参加時に参加費を納入ください)
- 使用テキスト 大祝日記 (諏訪市博物館所蔵大祝諏方家文書) ※令和6年9月時点

✍️入会をご希望の方✍️

下記のいずれかの方法でお申込みください。

- 古文書学習会代表 (原) へメールする。(nap4er-tmp@yahoo.co.jp)
- 諏訪市博物館へ電話、メールまたは窓口でお申込みください。

諏訪市博物館友の会

会長 飯田 辰治 / 古文書学習会 代表 原 寿樹

諏訪市博物館 諏訪市中洲 171-2 (上社本宮前)

☎0266-52-7080 Fax0266-52-6990 email: suwamu@city.suwa.lg.jp

開館時間: 午前9時～午後5時 URL: <https://suwacitymuseum.jp>

休館日: 月曜日 (祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始